

電波政策懇談会 電波利用システム将来像検討部会（第9回会合） 議事要旨

1 日時

平成21年4月10日（金） 10時00分－11時00分

2 場所

金融庁12階 共用第2特別会議室

3 出席者（敬称略）

（主査：敬称略）

森川博之

（構成員：50音順、敬称略）

麻倉怜士、石原弘、稲村賢治、岩浪剛太、後川彰久、真崎博司（大西構成員代理）、岡田一泰、岡本芳郎、門脇直人、金正勲、郡山龍、後藤幹雄、櫻井浩、清水郷太、庄木裕樹、正源和義、鈴木淳（杉山構成員代理）、矢野隆（鈴木構成員代理）、竹内嘉彦、田中謙治、中山正千代、林俊樹、福田英輔、古川憲志、堀部晃二郎、宮崎正夫、三輪真、加納賢治（諸橋構成員代理）、矢野陽一、湧口清隆、横澤誠

（総務省）

吉田電波部長、渡辺電波政策課長、佐々木基幹通信課長、野水電波政策課企画官、坂中移動通信課企画官、瀬戸移動通信課推進官、新田電波政策課企画官、村上電波政策課統括補佐

4 議事

1. 開会

2. 議題

(1) 電波利用システムの将来像について

3. その他

4. 閉会

5 議事概要

- ・資料 9-1「電波政策懇談会電波利用システム将来像検討部会報告（案）」に基づき、事務局より説明を行った。
- ・今後の議論の進め方について事務局より説明を行った。

6 議事概要

各議題について以下のような意見及び質疑応答があった。

- これから先注目を浴びる帯域としてテラヘルツ帯が挙げられるので、今後の課題の部分などに盛り込んではどうか。
→資料9-1 76ページに記載がある。
- 「安心・安全自営システム」という名称について、中身のシステムを見てみると必ずしも自営に限ったものではないので、他の名称にしてはどうか。また、ミリ波について主に家庭内ワイヤレスシステムの中で語られているが、特段家庭内ワイヤレスに限った話ではないのではないか。

- 電波利用が各々の社会問題を解決すると同時に、ワイヤレスが日本の競争力に資することによっても社会的に貢献できるという部分についても、加えてはどうか。また、環境資源分野関連は、もっと直接的にスマートグリッドにワイヤレスで実施できないか。
- 資料9-1の検討の経緯の部分で、経済的効果について検討とされているがその部分は本資料に含まれていないのではないかと。
- 経済的効果については、主に親懇談会の方で議論がなされているため、社会的効果についての検討と修正させていただきたい。
- 今後の検討課題としてワイヤレス電力伝送の人体への影響について不安に思われぬような配慮をお願いしたい。
- 今回の検討での結論としての技術などの情報はあくまで現時点でのものなので、一定期間毎に情報がアップデート出来るような方法があればいいのではないかと。
- 制度整備、実証実験等の複数の視点から、今後の課題としての電波利用環境整備の部分をもう少し細かく書いてはどうか。
- 経済効果に関して、懇談会の検討を踏まえて、内需拡大、輸出振興、安心安全、コストの削減になるなどの具体的なシナリオを検討するような会が今後必要になるのではないかと。
- 国内市場をねらう企業とグローバル化する企業が2分化するとうまく回っていくのではないかと。
- 一つの分野が発展することで他の分野が発展し、それがまた最初の分野に戻ってくるという波及効果のループについて書かれるといいと思う。
- 電波利用環境の整備について、電波特区の様な実験を自由に出来るような施策がもっとあればいいのではないかと。

7 次回の予定

当部会については、今回で最終回とする。

今回議論した部会報告を、4月13日の第5回電波政策懇談会において報告予定。

以上